

質問回答書

令和8年4月27日

尾張旭市健康福祉部保険医療課

令和8年度尾張旭市健康診査受診勧奨委託業務に関する質問の回答は、下記のとおりです。

記

No	質問項目	質問内容	回答
1	2業務内容 (3) 通知物の作成	「対象者が属するグループごとに受診行動につながる内容の受診勧奨メッセージを作成し、印刷する」とありますが、当該「受診行動につながる内容」の妥当性を担保する観点から、実際の対象者（国民健康保険加入者及び後期高齢者医療制度加入者等）への対面又はオンラインでヒアリングやインタビュー等を踏まえて資材を作成することが想定されているという理解でよろしいでしょうか。	実際の対象者（国民健康保険加入者及び後期高齢者医療制度加入者等）への対面又はオンラインでヒアリングやインタビュー等を踏まえて資材を作成することは必須条件ではありませんが、これまでのノウハウを活かして、対象者の特性に合った効果的な受診勧奨メッセージを提案してください。
2	2業務内容 (6) 事業評価及び改善策の提案	データ分析および次回健診受診率向上のための提案に関して、次年度に向けた施策提案の精度を高めるため、尾張旭市様の課題意識に基づく追加分析のご要望等があった場合には、柔軟に議論・対応の上業務遂行の過程で生じる追加の、提案に反映したいと考えております。このような、分析依頼等についても、本業務の「事業評価及び改善策の提案」の範囲内として対応可能という認識でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
3	2業務内容 (8) スケジュール	昨年行われた2回の勧奨の時期と、その時期に送付した意図をご教示ください。 また、R8年度も2回の勧奨を想定されていますでしょうか。	昨年の勧奨時期について、1回目は7/31、2回目は9/17です。この時期に送付した理由は、データの提供を加味して1回目を7月に設定し、2回目は1回目から1か月空けた方が効果的と考えたためです。 R8年度の回数について、より効果的な発送回数及び発送スケジュールの提案をお願いいたします。

4	<p>3 業務の実施方法</p>	<p>国民健康保険から後期高齢者医療制度まで一貫した受診勧奨を行うことが有効であるとの考えから、特定健康診査及び後期高齢者医療健康診査の受診勧奨を一体的に実施すると記載されていますが、事業評価(報告書)においても、国民健康保険から後期高齢者医療制度まで一貫した分析を行い、報告することが求められているという理解でよろしいでしょうか。また、当該手法が有効であるとの前提に立つ場合、過去に同様に国民健康保険と後期高齢者健診を一体的に分析・実施した実績を有する事業者であることが、参加資格として求められているという理解でよろしいでしょうか。</p> <p>さらに、その場合、当該実績については、仕様書や契約書等により一体的に実施した内容が確認できる資料の提出が必要となりますでしょうか。</p>	<p>国民健康保険と後期高齢者健診を一体的に分析・実施した実績を有する事業者であることは、参加資格の必須条件ではありません。一貫した分析が必要であるとお考えであれば提案してください。</p>
5	<p>4 参考情報 (1) 基本情報</p>	<p>R7 年度健診の各月の受診者数を年代・性別区分でご教示ください。</p>	<p>各月の受診者数は以下のとおりです。</p> <p>R7.6月：特定 757 人、後期 1,267 人  R7.7月：特定 634 人、後期 1,060 人  R7.8月：特定 416 人、後期 610 人  R7.9月：特定 939 人、後期 1,247 人  R7.10月：特定 1,380 人、後期 1,555 人</p> <p>各月の受診者数に対する年代・性別区分は持ち合わせていませんが、健診全体を通しての年代・性別区分はご提示できます。詳細は、以下のとおりです。</p> <p>40～44 歳：121 人 (男 53 人、女 68 人)  45～49 歳：183 人 (男 74 人、女 109 人)  50～54 歳：290 人 (男 147 人、女 143 人)  55～59 歳：297 人 (男 140 人、女 157 人)  60～64 歳：472 人 (男 186 人、女 286 人)  65～69 歳：960 人 (男 379 人、女 581 人)  70～75 歳：1,803 人 (男 701 人、女 1,102 人)  75～79 歳：2,578 人 (男 1,133 人、女 1,445 人)  80～84 歳：1,834 人 (男 811 人、1,023 人)  85～89 歳：948 人 (男 434 人、514 人)</p>

			90～94歳：301人（男128人、女173人） 95～99歳：69人（男19人、女50人） 100～104歳：9人（男1人、女8人） 105～109歳：0人
6	4参考情報 (1)基本情報	R8年度健診対象者数と、対象者のうち5年または3年連続受診者、不定期受診者、5年または3年連続未受診者の割合をご教示ください。	R8年度 特定健診対象者数（見込み）：9,982人 後期健診対象者数（見込み）：13,690人 R8年度対象者のうち、左記項目の受診者割合は分かりかねます。 R7年度対象者の場合でお答えします。 ・3年連続受診者割合 特定25.8%、後期34.6% ・不定期受診者割合 特定22.0%、後期22.9% ・3年連続未受診者割合 特定52.2%、後期42.6%
7	4参考情報 (1)基本情報	R7年度の2回目通知は再勧奨という認識で合っておりますでしょうか。	お見込みのとおりです。
8	4参考情報 (1)基本情報	R7年度の対象者をセグメント分けしている場合はその内訳と、各セグメントの人数も教えてください。 また後期も同様にご教示ください。	R7 特定対象者 ・健診習慣層：120人 ・将来不安層：605人 ・通院安心層（不定期受診）：1,174人 ・楽観的な健康無頓着層：187人 ・通院安心層（健診未受診）：378人 ・現実を見ない健康無関心層：250人 ・新規層（国保新規加入者）：757人 ・新規層（新規40歳）：52人 ・新75歳（前年度国保健診受診者）：138人 ・新75歳（前年度国保健診未受診者）：27人  R7 後期対象者 ・毎年受診者（3年連続）：322人 ・医療機関通院者（未受診・不定期）1,618人 ・医療機関未通院者（未受診・不定期）135人 ・新75歳（前年度国保健診受診者）32人 ・新75歳（前年度国保健診未受診者）11人
9	4参考情報 (1)基本情報	R7年度の通知物の仕様（サイズ）を教えてください。 1回目と2回目、国保と後期で仕様を変えている場合は、合わせてご教示ください。	R7年度 国保 1回目：圧着はがき 2回目：圧着はがき R7年度 後期 1回目：A4サイズの見開きの圧着タイプ 2回目：圧着はがき

10	様式2（企画提案書）	提案書の最低枚数や上限枚数はありますか？	提案書の最低枚数や上限枚数制限は設けていません。
11	様式4（業務実績）	実務実績において契約書の写しの添付がありますが、こちらは頭紙のみの添付でしょうか？また部数は1部でしょうか？	お見込みのとおりです。

以上